

ハブ製品は



なぜ「お金がたまる」「魔除けになる」といわれているのか…

蛇類は脱皮を繰り返す事から「**不死と再生のシンボル**」として世界各国に数多くの伝説を残しています。脱皮をする事で新たなる生命が宿るという**蘇生力**が革にも宿っていると考えられたため、お金を蘇生し無限に増やしていく力があるといわれています。奄美でもハブに関する古いお話や言い伝えはさまざまですが、古くから**ハブのことを「マジムン」(魔物)**と呼び、ハブの革や骨を身に着けると「ジンムツチャニナティアクヨケダカシュンド」(金持ちになり魔除けになる)といわれています。

人を寄せつけない場所にドクロのマークがあるのと同じようにマジムン(魔物)を寄せつけない為に昔の人はこのような事を言っていたのではないかと考えられています。